

NPO法人 ALIVE LAB (アライブラボ)

～ 運動 + 食育 = “健康” HAPPY!! ～

平成20年3月、徳島県の抱える糖尿病問題や子どもたちの体力低下等を踏まえ、健康でないと楽しい人生は過ごせない! 「とくしま」を元気にしたい…との思いで、まずは一人ひとりが健康に「気づき、考え、行動し、継続していく」ためのきっかけづくりから徳島県民の健康づくりを推進することを目的に2人で設立しました。

平成23年度の徳島市協働支援事業をきっかけに、生産者・とくしまマルシェ・加工業者・大学生と連携して、4～12才までの子どもたちと家族を対象に、農作物の「植付け～収穫・加工・販売」の一連の流れを体験する食育プロジェクト「キッズファーマープロジェクト」を実施しています。

取組主体

- 名称 NPO法人 ALIVE LAB (アライブラボ)
- 所在地 徳島県板野郡北島町新喜来字二分1-91
- 構成員 とくしまマルシェ事務局、生産者、加工業者、大学生、NPO法人 ALIVE LAB
- 代表者 理事長 岡本 由之、理事長 上田 啓人
- 連絡先 特定非営利活動法人 アライブラボ事務局
- 電話 080-6380-4954(担当:上田)
- HPアドレス <http://alivelab.jp/>



アライブラボ

徳島県

活動の動機・目的

子どもたちが農作物の「植付け～収穫・加工・販売」の一連の体験をすることで、農業や加工・販売業の楽しさや難しさを知ってもらい、色々な人たちとのふれ合いを通じて、“地産地消や食に関する意識”を育むために活動をしています。

活動の動機・目的

農作物が畑から食卓に届くまで、色々な人たちとのふれあいを通じながら、実際に“見て・さわって・感じられる”「社会の仕組みを学べる食育プログラム」を実施しています。

枝豆・トウモロコシの収穫の様子 (平成24年7月16日(月・祝))

販売体験の様子 (平成24年7月29日(日))

16日は、藤原農園で家族11組(子供22名)が枝豆とトウモロコシの収穫や味見をし、29日の販売準備をしました。29日には、近くの産直市場で収穫した枝豆・とうもろこしの販売体験をしました。



作業前の説明



収穫した枝豆とトウモロコシの味見

味見後の販売準備



7月29日: 収穫したトウモロコシ(54本)、枝豆とトウモロコシを加工したアイスクリームを販売。完売しました!



ハサミで枝豆の収穫



枝豆袋のイラスト作成

7月29日は
売るぞ!

ALIVE LAB (アライブラボ)

取組内容

地域関係者との連携

- ・初年度(23年)は、徳島市の助成金を受け農家6戸と協力し、「キッズファーマープロジェクト」を実施。
- ・「植付け～収穫・加工・販売」については、生産者や産直市、企業、学生の協力を受け実施。
- ・コラボの時代。県の健康増進会議(県、市、医師会、学校校長等で構成)に出席。各団体等の活動が効果的に働くよう連携し、可能性を高める取り組みとしたい。

体験活動の運営

- ・理事長2名、スタッフ18名で運営。メンバーは、管理栄養士、理学療法士、看護師、健康運動指導士で役割分担。事務は岡本理事長。運営関係は上田理事長が行う。
- ・24年度は、農家(2戸)を増やし、3市(徳島市、吉野川市、小松島市)8農家と契約。助成金無しで実施。
- ・リピーターの参加もあり、毎回同じ体験でなくプラス を追加。参加者の反応やアンケートの意見は、次回に繋げるためのアドバイスとして活用。
- ・体験し、収穫・加工した農産物等は、「おひろめの場」において披露、産直市での販売は一つの楽しみ。
- ・家族で運動や食育を楽しみながら続けられることで、健康に結びつける活動とする。
- ・継続的な活動に結びつけるには、ある程度収益を生む事業活動も必要。
- ・農産物は加工・販売等をして収益を得る。その間の活動費は、無収益であることから他の事業から補填。
- ・平日はイベントの準備、土・日曜日は開催日となり、少数精鋭でシフトが大変。プロジェクトチームやメンバー等の理解と協力があるから続けられる。
- ・近隣に知人・友人等が多く、常に情報交換をしながら英知を養い取り組む。



参加費の設定

スタッフの大学生チームと検討。イベントの人気度等を考慮し、次回に繋がる参加費を設定。

参加者の集め方

イベント開催農家周辺の幼稚園・保育園・小学校にチラシを配布。ホームページで参加者を募集。



将来の夢(目標)

参加した子どもたちが「楽しかった」だけでは核心に触れていない。パフォーマンスの活動ではなく、核心に触れ、もっと深く気持ちに残る食育体験としたい。できるときに、できることを、できるだけする。やりたいことは沢山ある。

アライブラボ 理事長:上田 啓人



みんなの声

(参加者)

- ・トウモロコシを収穫する時に、枝をポキッと折るのが楽しかった。(5歳男)
- ・嫌いな野菜でも、自分で栽培した野菜は食べるようになった。(30代女性(坂上町)、小2男・幼女)
- ・体験に参加する前は、自分にできるか不安がっていたが、参加するととても喜んで農作業をしていた。(30代女性、小男)
- ・同年代の子どもたちと一緒に作業できるので、喜んで参加している。また、子どもが枝豆の収穫中、カマで手を切ったが、これも良い経験になったと思う。(30代女性(徳島市)、幼男)



トウモロコシの収穫

(協力者)

- ・消費者や子どもたちに食べ物の大切さを伝えたい。野菜を好きになってほしい。食育に携わりたい思い。(篠原農園)

(スタッフ)

- ・初めてボランティアとして参加。子どもたちのいきいきした表情がとてもすばらしい。子どもたちが一連の作業を体験できる機会はなかなかない。貴重な経験になると思う。
- ・自分たちの活動と通じるものがあると思い参加。子どもたちの楽しそうな表情がとても良い。(NPO法人びざん大学)
- ・作業の日程(特に収穫)の調整・変更が難しいので、天候が一番気がかりになる。